



# 「岡崎 JAZZ November 2018」 ファイナルコンサート

岡崎 JAZZ  
November  
2018



HIROMU AOKI



TAKESHI INOMATA



## 猪俣 猛 トリオ トーク&ライブ・スペシャル

YASUO ARAKAWA



2018年 **12月11日【火】**

開演18:30 開場18:00

【出演】猪俣 猛(ds)、青木弘武(p)、荒川康男(b)

【会場】岡崎市図書館交流プラザ リぶらホール

愛知県岡崎市康生通西4丁目7-1

【入場料】1,000円 (当日、入場時にお支払いください)

受付開始 2018年11月5日(月)より **要事前申込**

申込先 BLUE WAVE JAZZ FORUM事務局  
FAX:0564-46-5622 TEL:090-9916-5174 (柴田)

主催 ジャズの街岡崎発信連絡協議会・NPO法人BLUE WAVE JAZZ FORUM





## 猪俣 猛 (いのまた・たけし) drums

オーボエ奏者の父を持ち、恵まれた音楽環境で育つ。16歳でデビューし、20歳で上京。21歳でスイングジャーナル誌の新人賞に輝き、「渡辺晋とシックス・ジョーズ」を経て、名門「西條孝之介とウエストラインナーズ」に参加し、後にリーダーとなって名声を轟かせる。前田憲男、荒川康男とのコンビもこの時期に生まれ、名実ともに日本を代表するトリオとして現在に至る。

教育面での活動も盛んで、1976年にはドラムを通じて音楽の素晴らしさを教える「リズム・クリニック・センター(RCC)」を設立。1991年、音楽生活40周年を迎え、Bunkamuraオーチャードホールを皮切りに全国縦断コンサートを行う。常に豊富なアイデアの持ち主であり、パイタリティあふれる企画の数々も好評を得ている。1994年、「サンクス・トゥ・アメリカ」と題し、「ジャパン・ジャスト・ジャズ・オールスターズ」を率いてニューヨーク公演を行い、カーネギーホール、アポロシアターなどで大喝采を浴び、日本のジャズが高く評価された。1995年度、スイングジャーナル社より、ジャズ界で個人に与える最高の栄誉「南里文雄賞」を受賞する。1997年、21世紀へ向けてシンフォニック・ジャズ・オーケストラを結成し、Bunkamura オーチャードホールにおいてコンサートを行った。1997年より、飛鳥ワールドクルーズに猪俣猛カルテットで連続乗船。1996年より、前田憲男氏を音楽監督にビッグバンド「THE KING」を結成。2000年までの4年間、浜離宮朝日ホールに於いて朝日新聞社主催「キング・オブ・ジャズ-21世紀へ贈る」シリーズをプロデュースし、日本ジャズ史に残るコンサートを全20回に渡り行い貴重な映像を記録。2000年、朝日新聞社主催による音楽生活50周年記念コンサート「リズム&ジャズ」が行われた。2001年~2004年、銀座王子ホールに於いて、前田憲男(p)、荒川康男(b)とのシリーズコンサート「Golden Trio WE3」を行う。2005年、音楽生活55周年として朝日新聞社主催の「アルがままにイノままに」が開催された。2009年、サントリーホールにてRCC主催・音楽生活60周年コンサート「I LOVE MUSIC」を開催。2010年より、成城ホールにてジャズフェスティバル「JAZZ in SEIJO」をプロデュース。2011年より、流山ジャズフェスティバル「JAZZ in NAGAREYAMA」の総合プロデューサーを務める。2012年、音楽監督を務める国分寺市立いずみホールにて東日本大震災復興支援コンサート「Sing Swing Sing」開催。

2017年、文化庁長官表彰授与。

わが国のモダンジャズドラマーの先駆者として、また、吹奏楽をはじめとするアマチュア音楽教育の面で輝かしいキャリアの持ち主であり、国内外で注目を集めている。

(株)アール・シー・シー代表取締役、NHK文化センター「猪俣猛ドラム教室」監修、ヤマハ契約モニター、ジルジャン契約モニター、ヴィックファース契約モニターを務める。



## 青木 弘武 (あおき・ひろむ) piano

1953年12月17日大津市生まれ。皇子山中、大阪音大附属高校から大阪音大へ進学し、卒業後の1978年プロデビュー。大隅寿男トリオ等で活躍。大隅トリオでは「Water Melon Man(1981)」を日本の伝説的なジャズレーベルThree Blind Miceよりリリースし、今もDJやジャズファンからも評価が高い。続く「Melodies of love(1986)」ではジャズベースの巨匠ロン・カーター氏と共演。

1990年に独立。1998年には初のリーダーアルバム「Wedding」をリリース。日本ジャズ賞にノミネートされ、著名なジャズ評論家故岩波洋三氏による著書「ジャズこだわりCD668」に選ばれる。その後も「The best thing for you(2006)」「Wedding II(2008)」「The three(2011)」「Cooking(J.A.G)(2015)」などのリーダーアルバムをリリースする他、様々なアーティストの録音に参加。アメリカで現地のミュージシャンたちと録音した「The best thing for you」は雑誌ジャズ批評をはじめ多方面で高い評価を受ける。豪華客船飛鳥の世界クルーズにも長年乗船。2016年アメリカで活躍するポーランド人歌手ベアタ・パテル氏のポーランド凱旋ツアーに参加。

楽しくファンキーにドライブし、リリカルなバラードプレイは高く評価され、全国に根強いファンを持つ。ヴォーカリストのバックアップにも定評があり、多くの歌手からの信望も厚い。



## 荒川 康男 (あらかわ・やすお) bass

パークリー・ミュージック・カレッジ(作・編曲科)卒。在米時にはブロード・ウェイ・ショーのオーケストラを勤める傍ら、秋吉敏子、チャーリー・マリانو、ロイ・ヘインズ、ソニー・スティッツ、チック・コリア、ジョー・ウィリアムス、サム・リバースといったプレイヤー達と共演する。帰国後「佐藤允彦トリオ」「猪俣猛とサウンドリミテッド」に参加。1994年、猪俣猛率いる「Japan Just Jazz All Stars」の一員としてニューヨーク公演に参加し、カーネギーホール、アポロシアターなどに出演。現在は「前田憲男とウインドプレイヤーズ」「WE3」などで活動を続ける一方、アレンジャー、スタジオ、オーケストラとの共演と活動範囲は幅広く、また音楽理論、編曲の講師としての活動も行っている。